



わだいすき

第75号 平成27年10月22日発行

発行者：NPO法人和田地域づくり協議会『WAO!』

連絡先：住所 南房総市和田町仁我浦206 和田地域センター内

電話 0470-47-3427

パソコン教室参加者募集

年賀状の作成のためという訳ではありませんが、今年度2回目のパソコン教室を行います。使い方がよくわからないなど悩みのある方は、次のように行いますのでふるってご参加ください。

なお事前に「どのようなことを聞きたいのか」「どのような技能を習得したいのか」などを聞かせてください。その場ですぐに対応できないこともありますので、よろしくお願いします。

パソコンはご自分のものがありましたら、お持ちください。ご自分のものの方が理解も速いし内容も深まると思いますので。

1. 日時 **平成27年11月25日(水) 14:00~16:00**
2. 会場 和田コミュニティセンター 生きがいスペース (なごみ喫茶)
3. 参加費 **300円(コーヒー付き)**
4. 募集人員 **5人(一人一人に対応するため少人数で行います)**
定員になり次第締め切ります
5. 申込先 **和田地域づくり協議会 47-3427**



前回の教室の様子

真浦天畑にキンセンカを植栽



丈夫に育ちますように 根まで十分に行き渡るようかけていました。

真浦天畑保存会の皆さんと和田小3・4年生の皆さんが、8日に真浦天畑でキンセンカの植栽を行いました。

今回は3年生11人と4年生7人が、会員の育てた750本の苗を、約400㎡の畑に植えました。4年生は昨年も行っているので、手慣れた様子でキビキビと植えていました。3年生はその姿をまねるように丁寧にうえていました。植え終わった後は、ペットボトルに入れてきた水を苗にかけたのですが、それだけでは足りず、天畑にある水瓶から汲んできて、

このあとは除草作業や追肥作業などの管理をしていきます。花は2月下旬から少しずつ咲き始め、天畑をオレンジ色に染めていくはずです。そして3月の卒業式には、3・4年生の想いのこもったキンセンカが体育館に飾られることになります。

10月末から11月までの主な行事

- 10月25日(日) 和田町の文化祭ー和田コミュニティセンター
- 11月1日(日) 「花」「くじら」絵画展(～30日まで)ー和田地域センター1階
- 11月3日(土) 南三原地区運動会ー南三原小学校(雨天の場合8日)
- 11月23日(月) 和田福祉まつりー和田地域福祉センターやすらぎ

『ひだまりの郷』

『ふれあい交流会』参加者募集

「ひだまりの郷」主催で、いろいろな地域の人たちとの交流会が次のように行われます。お子様からお年寄りまで多くの方々が集い、歌って、踊って、笑って、食べて、楽しい一日が過ごせたらと様々な催しが計画されています。

その催し物の一つに、講談・落語があります。現在小学校4年生で落語の勉強が行われていますが、今回、一流の講談師の皆さんが来てくれているので、参考にできたらいいですね。



1. 日 時 **11月8日(日) 11時～15時** (昼食休憩1時間)
2. 会 場 **和田コミュニティセンター3階市民ホール**
3. 内 容
 - 11時00分～11時30分 ユーフォニアム演奏 (吉田えり)
 - 11時30分～12時00分 人形劇 (劇団コロコロ)
 - 13時00分～15時00分 講談・落語 (一龍斎貞橘、宝井琴柑、柳家喬の字)



4. 参加費 弁当・飲み物代を含んで、大人700円、子ども500円
5. 定 員 70人
6. 締 切 10月31日(土)までに、電話にて申込みを
7. **申込み・問い合わせ先 押元 真理子さん(090-3040-1249)**

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練



受付票を受付班へ提出

南房総市社会福祉協議会による『災害ボランティアセンター立ち上げ訓練』が、10月17日に和田地域福祉センターやすらぎで、市内から約80人が参加して行われました。

オリエンテーションの後、駆けつけてきたと想定した参加者を、①受付班 (ボランティアに来た人たちの受付) ②ニーズ班 (災害遇った人たちの要望を受ける) ③オリエンテーション班 (ボランティア活動についての説明) ④マッチング班 (ニーズとボランティアのマッチング)

⑤送り出し班 (活動に向けた案内) ⑥資材班 (支援物資の提供、活動機材の調達や管理) ⑦救護・衛生班 (負傷者の応急処置) ⑧広報班 (写真撮影等) に、手揚げ方式により分けスタートしました。各班はそれぞれの仕事内容について話し合い理解した後、ボランティアにきた人たちへの案内を始めました。

訓練では、「災害時は混乱しているので、しっかり情報収集してからでかける」「被災している人の心に寄り添って活動する」「活動時には安全確保が大切、確保できない時は中止」「災害場所では力仕事だけではなく、女性の視点も大切」などの注意点も話されていました。

さらに、ボランティアは1度だけではなく、2度3度と繰り返し足を運んでいくことが、被災者を勇気づけることにつながると話されていました。



オリエンテーション班



マッチング班



送り出し班